

第9回もがみがわ水環境発表会 プログラム

10:00 開会のあいさつ

○表彰式「美しい水辺づくり功劳賞」 10:05 ~ 10:25

- ☆ 川西町河川公園を愛する会（新庄市）
- ☆ 千門町蛭の会（新庄市）
- ☆ 山辺町立大寺小学校（山辺町）

○口頭発表セッションⅠ 10:30 ~ 12:00

座長：佐藤五郎（美しい山形・最上川フォーラム）

- K-1 蔵王川の岩石はなぜ赤いのかⅡ
○上野龍雅 西塚奈緒 小関一輝（山形市立蔵王第一中学校 総合科学部）
- K-2 耐酸性水生生物についての研究
○峯田晃輔 松浦裕哉 佐々木拓馬
（山形県立上山明新館高等学校 科学・バイオ・食品加工部 科学班）
- K-3 寒河江川の水質調査～10年間の調査で見た水質と水生生物との関係～
○大泉隆祐, ○斎藤尚史, ○斎藤紘平, 川村啓太（日本大学山形高等学校 生物部）
- K-4 養殖ガキはどうしてノロウイルスに汚染されるのか？
○伊藤紘晃（山形大学農学部）, 真砂佳史（東北大学未来科学技術共同研究センター）,
植木 洋（宮城県保健環境センター）, 渡部 徹（山形大学農学部）
- K-5 途上国の水環境に分布する薬剤耐性菌：テトラサイクリン耐性大腸菌を例に
○小澤耕平（山形大学大学院農学研究科）, 伊藤紘晃（山形大学農学部）,
本多 了（金沢大学理工研究域）, 渡部 徹（山形大学農学部）
-

○ポスターセッション 12:30 ~ 13:20

【かべ新聞】

- ① 山形五堰ごみ調査について（イオン山形南店チアーズクラブ）
- ② ゴミを減らしてぼくらの町をきれいにしよう
たてやまキッズクラブ3年生（NPO 法人ランドセル）
- ③ 指首野川的环境を考えよう（新庄市立新庄小学校 5年生）

【ポスター】

- P-1 ワンパク学園 元気全開！自然と遊ぼう！親子で魚釣り
守屋元志（特定非営利活動法人みなと研究会）
- P-2 最上川調査から見えてきた最上川の景観 佐藤 佑（米沢中央高等学校 科学部）
- P-3 新庄市内における河川の水質調査（山形県立新庄北高等学校 科学部）
- P-4 新潟市の野生メダカの体色変異体の研究
○高橋慶介, 高山拓士, 臼木大地（新潟市立万代高等学校 生物・園芸部）
- P-5 山形県県民の森湖沼群の環境とシヌラ藻の出現種
○古内一平, 高橋和也（山形大学大学院理工学研究科）, 岩滝光儀（山形大学理学部）
- P-6 庄内砂丘地での冠水の発生による周辺湧水の水質および流量への影響
○梶原晶彦, 遠藤丈大, 渡部 徹（山形大学農学部）
- P-7 環境負荷の低減に役立つ省資源型的水稻栽培システムの開発
○村松亜由美（山形大学大学院農学研究科）, 佐々木貴史（山形大学工学部）,
梶原晶彦, 渡部 徹（山形大学農学部）

- P-8 最上川源流部における溶存態および不溶存態金属種の挙動
 ○須貝直樹 佐々木貴史(山形大学工学部)
 曳地和博, 三條 優, 遠藤昌敏(山形大学大学院理工学研究科)
- P-9 馬見ヶ崎川長町農道橋付近の礫種組成 ー測定方法によって違いは出るか?ー
 ○大友幸子(山形大学地域教育文化学部)
 山形大学教養セミナー「記載岩石学」2013 履修生:
 齋藤初帆, 齋藤瑞樹, 櫻井里奈, 佐藤菜菜恵, 佐藤大陸, 白川晃弘, 高橋菫乃(人文学部),
 大橋悠太朗, 神田篤志, 齋藤翔一, 島袋義仁, 田崎智也(工学部)
- P-10 「蔵王の樹氷」について 柳澤文孝(山形大学理学部)
- P-11 平成の名水百選に選出された清流を守る「立谷沢川美化活動」
 齋藤 肇(日本一の清流・立谷沢川を創る実行委員会), ○澁谷毅士(事務局)
- P-12 震災起因漂流物をめぐる日米 NGO 連携の取り組みについて
 大谷 明(NPO 法人パートナーシップオフィス)
- P-13 平成 24 年度河川ゴミ発生源別実態調査結果
 早坂肯心(国土交通省東北地方整備局 山形河川国道事務所・酒田河川国道事務所・
 新庄河川事務所 合同発表)
- P-14 福島第一原子力発電所事故由来の放射性物質による県内河川の汚染状況
 ○長澤吉輝, 伊藤 健(山形県環境科学研究センター)

○基調講演 13:25 ~ 14:45

進行: 大岩敏男(美しい山形・最上川フォーラム)

「最上川水系の魚類相ー固有の絶滅危惧種をどのように後世に残していくか?」

講師: 山形大学理学部教授 半澤直人 氏

母なる川・最上川には、63 種を越える魚類の在来種が生息しています。しかし、様々な人間活動により、そのうち多くの種は絶滅のおそれがあります。この講演では、最上川水系に固有の魚類の絶滅危惧種について紹介します。この講演を通じて、これらの絶滅危惧種を今後どのように保護していくべきかを皆様と考えていただきたいと思います。

○口頭発表セッションⅡ 14:50 ~ 16:00

座長: 佐藤 勉(山形県環境科学研究センター)

- K-6 最上川における近年のアユ漁場の現状 荒木康男(山形県内水面水産試験場)
- K-7 山形の魚・サクラマス、最上川で減ってしまった要因と増やすための取り組み
 河内正行(山形県内水面水産試験場)
- K-8 最上川清流化と庄内海岸漂着物回収活動の教訓 今野吉一(最上川故里ミュージアム)
- K-9 浄化槽放流水質の経年変化
 遠藤敏弘, ○中村亮平(一般財団法人 山形県理化学分析センター)

16:00 閉会のあいさつ

* 要旨(カラー版)は美しい山形・最上川フォーラムのホームページでご覧いただけます。

HP: <http://www.mogamigawa.gr.jp/>